

ポータブルTSレコーディングアナライザ HACOBE

株式会社トラフィック・シム 大島 真亮

HACOBE について

HACOBEの正式名称は「ポータブルTSレコーディングアナライザHACOBE」です。その名の通り、TSの記録(同録)とTSアナライザの機能を搭載しております。記録はTSでされますが、入力RF信号にも対応しており、ファイル形式(アナライズのみ)の読込も可能です。もちろんTS入力にも対応しております。

HACOBEは多くの機能を搭載しておりますが、代表的な機能を幾つかご紹介いたします。

TS監視機能

TSバケット単位でのエラーチェックや、各テーブルの同期監視など柔軟な閾値でエラーを監視します。発生時にはログ出力、接点出力、該当部分のアーカイブ化も可能です。

TSレコーディング機能

入力された信号を内蔵HDDに約2日間(地デジ帯域)保存します。古いデータは随時上書きされ、必要なデータはアーカイブ化や外付けHDDへの切り出しも可能です。

ISDB-Tbにも対応可能。また表示言語の切り替えも可能!

HACOBEには3波版(地デジ・BS/110°CS)のTSA-1000Pと4波版(3波+64QAM/J.83AnnexC)のTSA-1000PQの2機種があります。いずれもISDB-Tbにも対応しており、設定により表示言語を日本語/英語に切替えて使用することが可能です。ユニットのサイズはEIA19インチ3Uハーフサイズで、専用のキャリングケースもご用意しております。

TSアナライズ機能

200MbpsまでのTSにも対応し、PID一覧やPCRジッタの解析、セクション解析はもちろん、セクション変化履歴など解析をサポートする機能も充実しています。また、TTSやTSMFによって多量化されているTSも解析が可能です。

映像音声デコード/B-CAS・C-CASデスクランブル

映像はMPEG-2、H.264、音声はAAC各種、MPEG2-Audio、LPCMに対応しています。デスクランブル機能により実際の放送のデコードも可能で、解析しながらの映像・音声の確認が可能です。※ユニット背面にはカードスロットが搭載されており、B-CAS・C-CASに対応しております。



▲ 図1

海外フィールドワークは、HACOBE1台でOK!

放送波のチャンネルサーチが可能

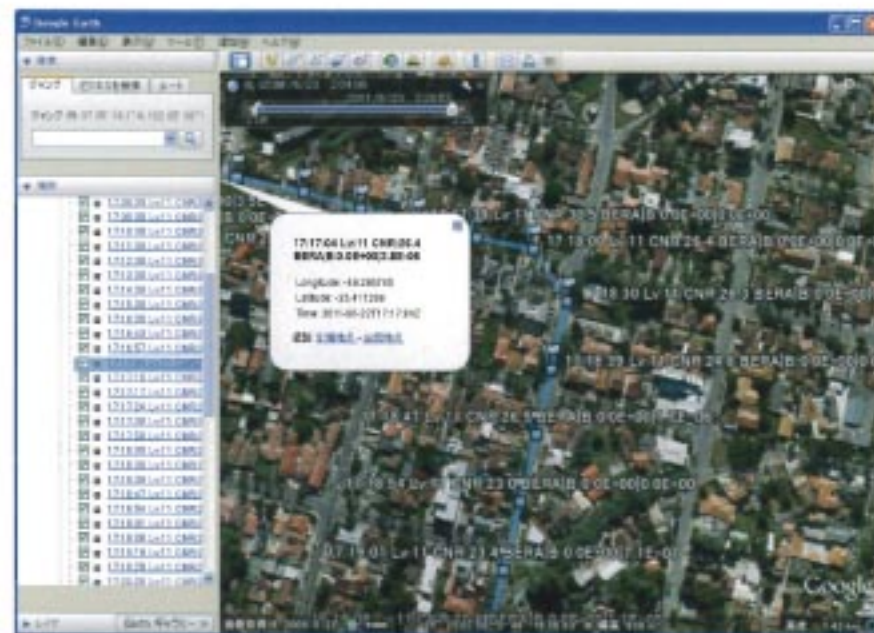
HACOBEにはチャンネルサーチ機能が標準で搭載されています。RF信号を接続し、チャンネルサーチを押すだけで、現在受信している信号の中に、どのテレビ局の放送波があるか確認することが可能です。放送局名と合わせてNITも表示可能です。

図1は、ブラジルのサンパウロ市内で室内アンテナを用いて受信テストを行った際の、チャンネルサーチ結果一覧の画面キャプチャです。このように国内外問わず、HACOBEがあれば現在地の受信状況を確認し、さらに国音の確認をすることが可能です。

GPSオプションを追加することで受信状況の把握、後からの確認が可能!

HACOBEのGPSオプションを使用することで、現在地点のC/N、BER、受信レベルを記録することが可能です。受信結果はGoogle Earthで読込可能なファイルで出力することが可能です。これにより車載して受信状況を調べ、後からGoogle Earthで確認することも可能です。

図2はブラジルでの現地テレビ局殿のご協力により、フィールド受信テストの結果をGoogle Earthで表示したキャプチャです。記録のタイミングには時間経過の記録、もしくは指定距離を移動した場合に自動保存されていきます。※数値はユーザ側で設定変更可能です。



▲ 図2



▲ 日本ではあまりみかけない16QAM+QPSK

【お問い合わせ】

株式会社トラフィック・シム 営業部
TEL 052-526-5162
FAX 052-219-5725

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-31-41